

110 X

426

1

為
角
中
地
上

TZ107808

110x
426

思はぬ天皇之本地上



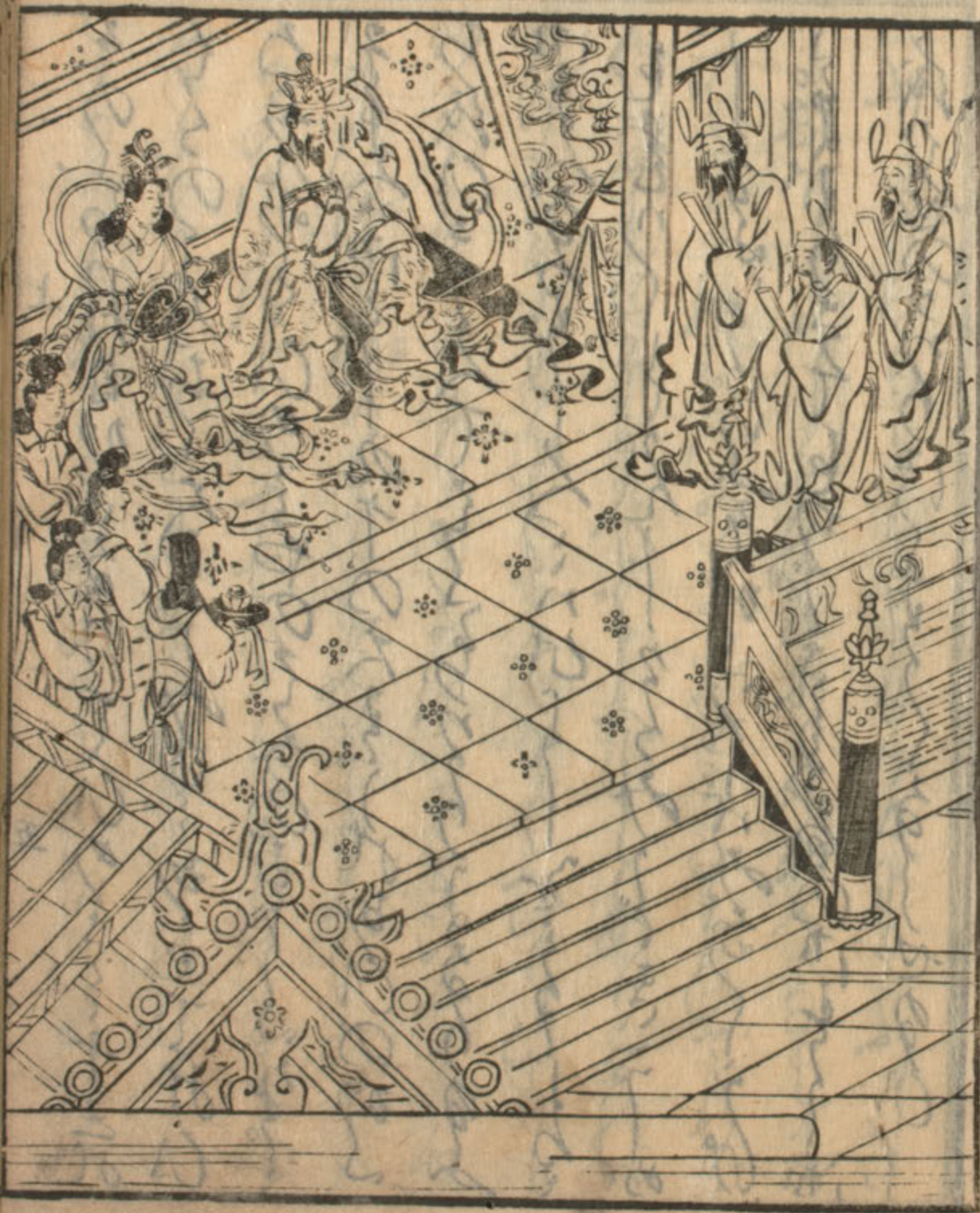
ひきかへもんとんじり此世らひひなり
そらぬあまよひとらぬのひりりふらぬ
せりあぐいどありたさうあうとふあねい
みど一人かりますりまはれはがをけく
はうくまるとをかりくさてまうまうた
むあうぐいのほのびなうさあわう録のもん
とらてりーのはさうればあまはてんのう
なうれえらうさあゆあはこりうあせ
ゆひより三千人此さう記をらう一人人の

あやなを二千人ぞんまのりもつたぞや
よのぢのりやのりやみぢもくまのりす
あやなを二千人ぞんまのりもつたぞや
よのぢのりやのりやみぢもくまのりす
あやなを二千人ぞんまのりもつたぞや
よのぢのりやのりやみぢもくまのりす
あやなを二千人ぞんまのりもつたぞや
よのぢのりやのりやみぢもくまのりす
あやなを二千人ぞんまのりもつたぞや
よのぢのりやのりやみぢもくまのりす

あやなを二千人ぞんまのりもつたぞや
よのぢのりやのりやみぢもくまのりす
あやなを二千人ぞんまのりもつたぞや
よのぢのりやのりやみぢもくまのりす
あやなを二千人ぞんまのりもつたぞや
よのぢのりやのりやみぢもくまのりす
あやなを二千人ぞんまのりもつたぞや
よのぢのりやのりやみぢもくまのりす
あやなを二千人ぞんまのりもつたぞや
よのぢのりやのりやみぢもくまのりす

まきまきしてゐるたいいふれりりりんぞんをふれ
山さうしたういふちゆうぞくしゆきつふいけ
はかりし一人ありりりりちゆういふいふも
さふとさういふさゆうぞくしゆきつふいけ
これらおれししゆうさうおんぞくのりりりり
らりりししてさひくしゆうありりりりりり
さうしゆうさうありりりりりりりりりりり
ちゆうのありりりりりりりりりりりりりり
ちゆうのありりりりりりりりりりりりりり
うせたまうしゆうさうさうさうさうさうさう

らりりりりりりりりりりりりりりりりり
か—らりりりりりりりりりりりりりりり
さうさういりりりりりりりりりりりりり
さいらんありりりりりりりりりりりりり
ありりりりりりりりりりりりりりりりり
らりりりりりりりりりりりりりりりりり
いりりりりりりりりりりりりりりりりり
あやのちゆうありりりりりりりりりりりり
ますはたとんいりりりりりりりりりりりり



そのくら月目のさきもりていつめさむ十三日
 くらりのうちくたすりかめいあもはれい
 りあんあくひあむものさむのさむしつみ
 ずまふいぢい一のたさしれあひのわ
 らあひまらんてさむさむらひよあむあ
 ぼすらんあらんらんはひしーんあむ
 けあむらむらんらんらんらんらんらん
 らあむらむらむらむらむらむらむらむ
 らあむらむらむらむらむらむらむらむら

いあむらむらむらむらむらむらむらむら
 けあむらむらむらむらむらむらむらむら
 らあむらむらむらむらむらむらむらむら
 らあむらむらむらむらむらむらむらむら
 らあむらむらむらむらむらむらむらむら
 らあむらむらむらむらむらむらむらむら
 らあむらむらむらむらむらむらむらむら
 らあむらむらむらむらむらむらむらむら
 らあむらむらむらむらむらむらむらむら
 らあむらむらむらむらむらむらむらむら

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100



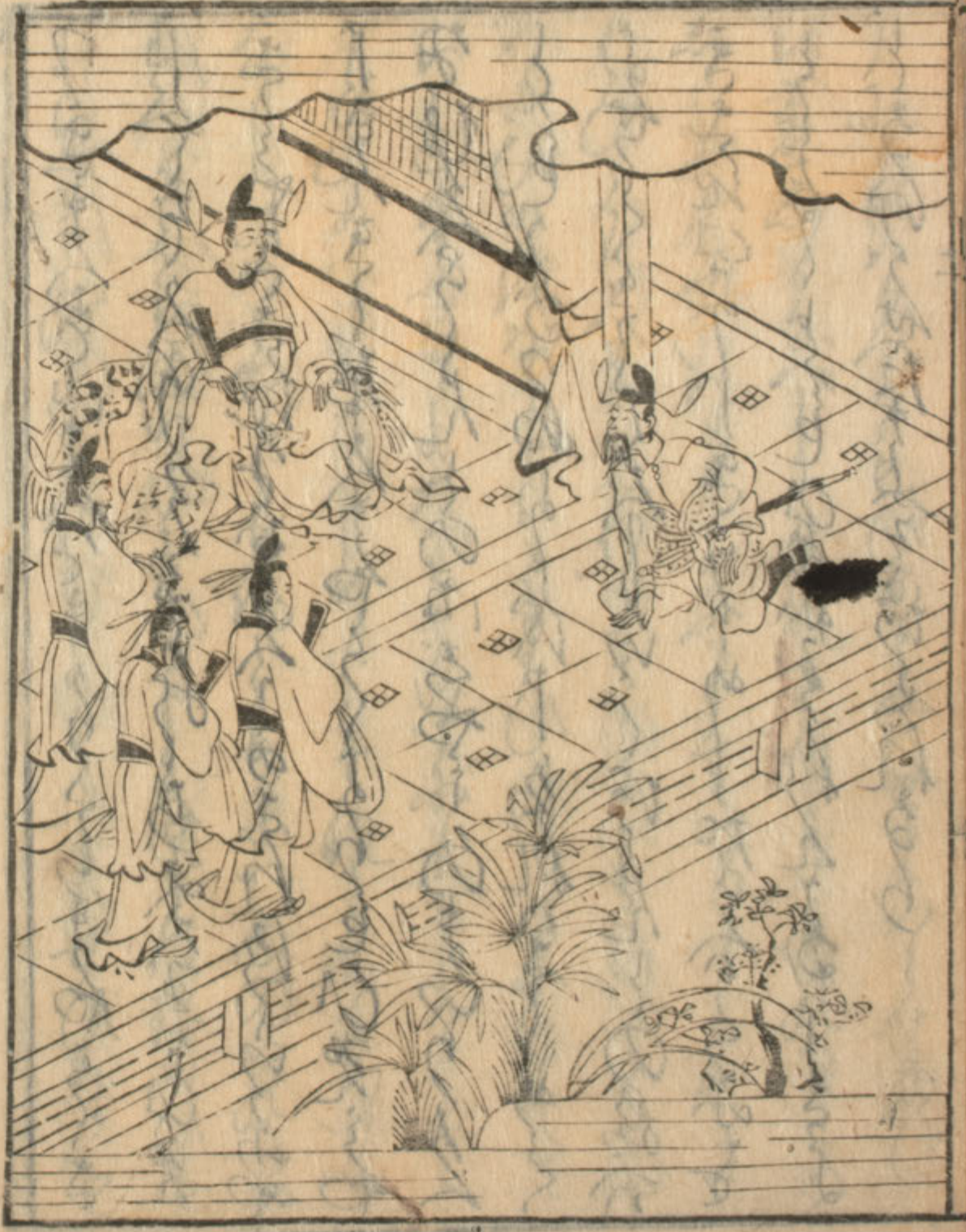
上
あよせしむらびくしんりんけい
すくなくしんりんけい
つひにきんりんけい
あしあしあしあしあしあしあし
あつたつたつたつたつたつたつた
いあつたつたつたつたつたつた
乃人あつたつたつたつたつた
あつたつたつたつたつたつた
のあつたつたつたつたつたつた
あつたつたつたつたつたつた

あつたつたつたつたつたつた
あつたつたつたつたつたつた
あつたつたつたつたつたつた
あつたつたつたつたつたつた
あつたつたつたつたつたつた
あつたつたつたつたつたつた
あつたつたつたつたつたつた
あつたつたつたつたつたつた
あつたつたつたつたつたつた
あつたつたつたつたつたつた
あつたつたつたつたつたつた
あつたつたつたつたつたつた
あつたつたつたつたつたつた
あつたつたつたつたつたつた
あつたつたつたつたつたつた

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript, written on aged paper. The text is arranged in approximately 12 horizontal lines within a rectangular border. The script is dense and fluid, characteristic of early modern European cursive.



Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript, written on aged paper. The text is arranged in approximately 12 horizontal lines within a rectangular border. The script is dense and fluid, characteristic of early modern European cursive.



Handwritten Japanese text in a cursive style, arranged in vertical columns. The text is contained within a rectangular border. The characters are fluid and connected, typical of the 'sōsho' style used in historical documents or literary works.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a single column on the right page of an open book. The script is dense and flowing, characteristic of early modern European cursive. There are some faint markings and a small blue stamp or mark at the top of the page.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a single column on the left page of an open book. The script is dense and flowing, characteristic of early modern European cursive. There are some faint markings and a small blue stamp or mark at the top of the page.

めくもあつしつてまのそくれん
 そろせたまふかきまはくせ目らめは
 けのよむくしつたのよつたの
 びりもさうらふれんゆりさうら
 まつてひらひらけしひらひら
 さめくあつたさうらひあさ
 さしとひらひらけしひらひら
 らんまよしつたひららんよ
 けさゆけんしつたまらく
 のららしつたひらけしひら



Handwritten text in a cursive script, possibly a list or a series of entries.

監田ノ事

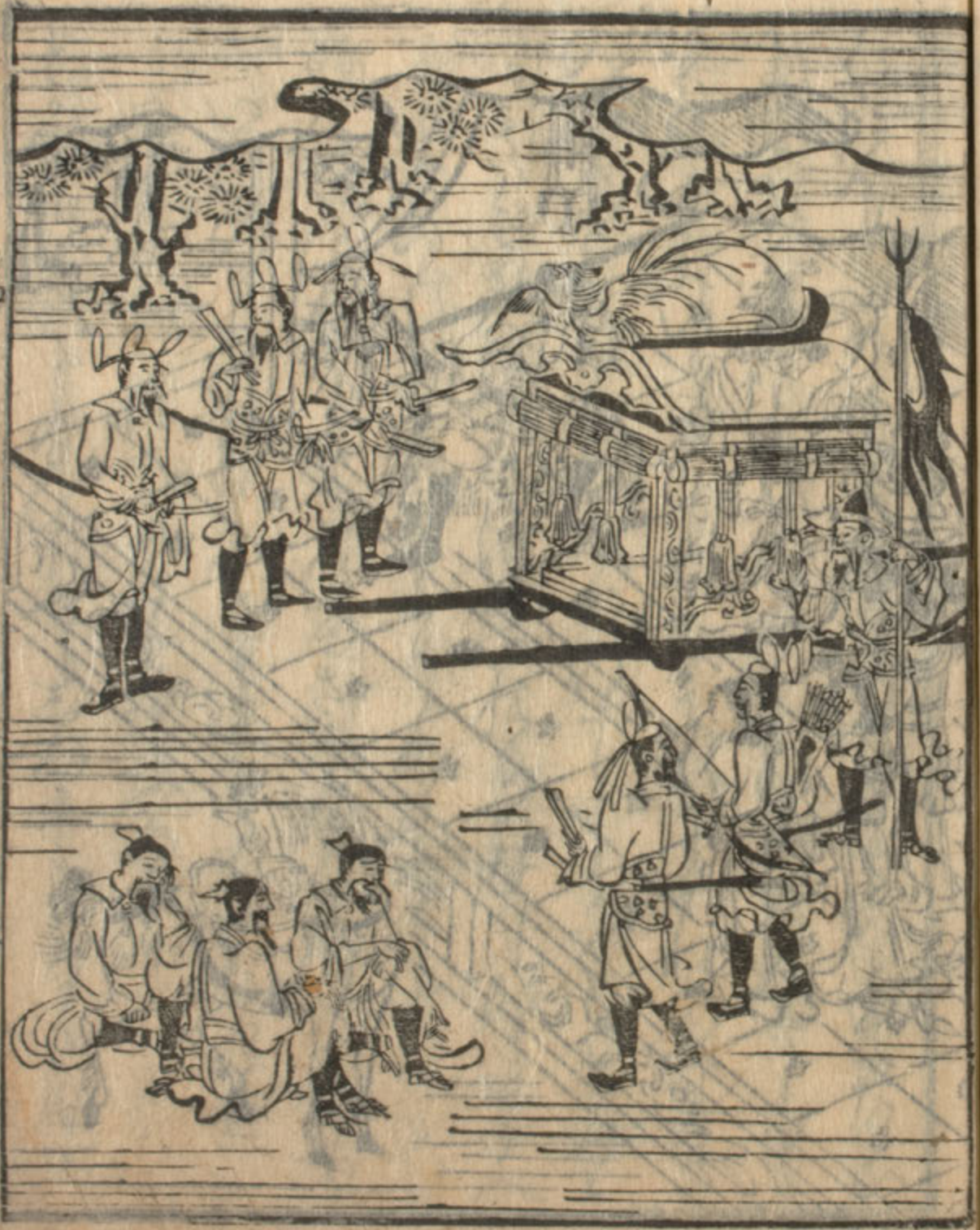
Main body of handwritten text on the right page, continuing the cursive script.

田圃ノ事

Main body of handwritten text on the left page, continuing the cursive script.

かゝる世のうらやまの御心はなほ
記すはむあるとありしや
なすも一とてなきはひあまの
ありわれはひあまの御心
によひ一統のあまの御心
まもるごころをめぐりあはれ
りしうらやまの御心はなほ
しあまの御心にあまの御心
まもるまもるごころの御心
ゆもあまの御心にあまの御心

あまの御心の御心はなほ
ひあまの御心にあまの御心
たうごころをめぐりあはれ
あまの御心にあまの御心
たひをめぐりあまの御心
あまの御心にあまの御心
あまの御心にあまの御心
あまの御心にあまの御心
あまの御心にあまの御心
あまの御心にあまの御心



あてしほ。いふまゝにむすもれるるゝ世のしら
 ことさうしほあちちるうとせしは
 ろはしちたむあふありしむひさうら
 うそいささのひさくすまねくさううか
 かしとくひさひさびらあせり千人
 せうたよとせうとせうとせんもま
 らしとらひひさうらあせりせん人乃
 そのちひさくたむとらうらうらひも
 のとせうとせうとせうとせんか
 らしとらうらうらうらうらうらうら

中
さへくさへくさへくさへく
むい海よにいらのりいり
つぞげれりらあひれあひ
あはれに候りつのおはに
うあはれに候りつのおはに
るげに候りつのおはに
うあはれに候りつのおはに
はりえとあひつらにほり
たよりいもあひつらにほり

ほくさへくさへくさへく
あはれに候りつのおはに
そちのさへくさへくさへく
うけのさへくさへくさへく
子のしに候りつのおはに
うあはれに候りつのおはに
あひれに候りつのおはに
れうきりつのおはに

まらりやとんはらんちまはまみいせのひかり
 もあぐいせくらりのりけくまも
 の大つんほせのひとくもつよ
 らくものそくはえんまのく
 らくよせんとしてくこよあま
 らくあぐくまらくまらく
 くらありさめをばらくすりあり
 太子ひららんとてしもんつも
 のくけぞめされくらちかり
 ち城つと大つものもんよら
 せまのく



此のめいしんねんをてあやしやたそいこ
 のめりら太子のよりいさひしめしり
 くらしうもらすくらうくまのらう
 ちあらびりしういひんとありきれはう
 けをゆりりとしくあへつらびよしかく
 とりたりたまひよりいさひめことなる
 へめせとぞむやせくらうしんまらきりて
 太子はうらくあやしりくら太子たらに
 けりしよまひたまひいねらんどもくつら
 のくしちぢふしそひめむやあくらぬそざら

小がてもくゆあくへおしをくひめはこ
 ちへういひしりうくわしきくもりあ
 けしそくあやそとあしんどもくひしそ
 めくらすへしすりふくことたあせくら
 太子こころしめしあよらんせひよも
 よふしそよせのよらひをゆりりそ
 ましとあよまらりまらりあはらう
 かせしひふらくあくはんちうし
 つかりぬらふらあはけいひおくは海
 志あんはけくちうらへしそぞりさん



Handwritten text in a cursive script, likely a historical or narrative account, written in a single column within a rectangular border. The text is dense and fills most of the page area.

ハあり由なる世の人とありてこれハ赤子
いりしにありてありて此とありてありて
てありてありてせんとははとんとす
あのみいしにありてせんとははとんとす
あのみいしにありてせんとははとんとす
あのみいしにありてせんとははとんとす
あのみいしにありてせんとははとんとす
あのみいしにありてせんとははとんとす
あのみいしにありてせんとははとんとす
あのみいしにありてせんとははとんとす
あのみいしにありてせんとははとんとす

あのみいしにありてせんとははとんとす
あのみいしにありてせんとははとんとす
あのみいしにありてせんとははとんとす
あのみいしにありてせんとははとんとす
あのみいしにありてせんとははとんとす
あのみいしにありてせんとははとんとす
あのみいしにありてせんとははとんとす
あのみいしにありてせんとははとんとす
あのみいしにありてせんとははとんとす
あのみいしにありてせんとははとんとす

あねはたのこをさるるにのり
あねはたのこをさるるにのり
あねはたのこをさるるにのり
あねはたのこをさるるにのり
あねはたのこをさるるにのり
あねはたのこをさるるにのり
あねはたのこをさるるにのり
あねはたのこをさるるにのり
あねはたのこをさるるにのり
あねはたのこをさるるにのり

ありてはたのこをさるるにのり
ありてはたのこをさるるにのり
ありてはたのこをさるるにのり
ありてはたのこをさるるにのり
ありてはたのこをさるるにのり
ありてはたのこをさるるにのり
ありてはたのこをさるるにのり
ありてはたのこをさるるにのり
ありてはたのこをさるるにのり
ありてはたのこをさるるにのり

中

十二

ちりいもくもさうらびさくくろんお
 じやくーいあひまらしてくあうたはむ
 せんとくそくさくもいさくあめれ
 そくめはきんたあひくそれうらよ
 ついすこころららごひんあくれさのり
 中流まされるいのおよを海ゆらまのあ
 そひののしとひんさくしはらんして
 あうたもーのしとくさくもいさくあ
 ぐいさひんさくもかからてんさくあ
 てだいのうらめは人のあくしとさくあ



くらひめさきしりぎにたみ 冬くふ
 ちり成あけくみかの人ハめんえちしやうよ
 うこいこいこちめてありうらうら。いらあざ
 くれよこのぬにかくこのうちめなまきま
 人れすごいあやまのこころよこのぬいよん
 づもおぼやまらうがうのこいらはまも
 まふくまぬいまひまひあうひとそ
 らのちごいもさうえくともちまゆけだ
 ひんたさく女をうらさうらほまをいれ
 この人金さくふよんくういこうまのわ

さいくまのまらうらうくまらそ
 の人女さくまらとありなれ女うらま
 ららよのまらうらうらまのまらま
 ちくまらうらまのまらまらまらま
 さくまらまらまらまらまらまらま
 まらちくまらまらまらまらまらま
 りくまらまらまらまらまらまらま
 くらちくまらまらまらまらまらま
 まらまらまらまらまらまらまらま
 あこれまらまらまらまらまらまらま

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

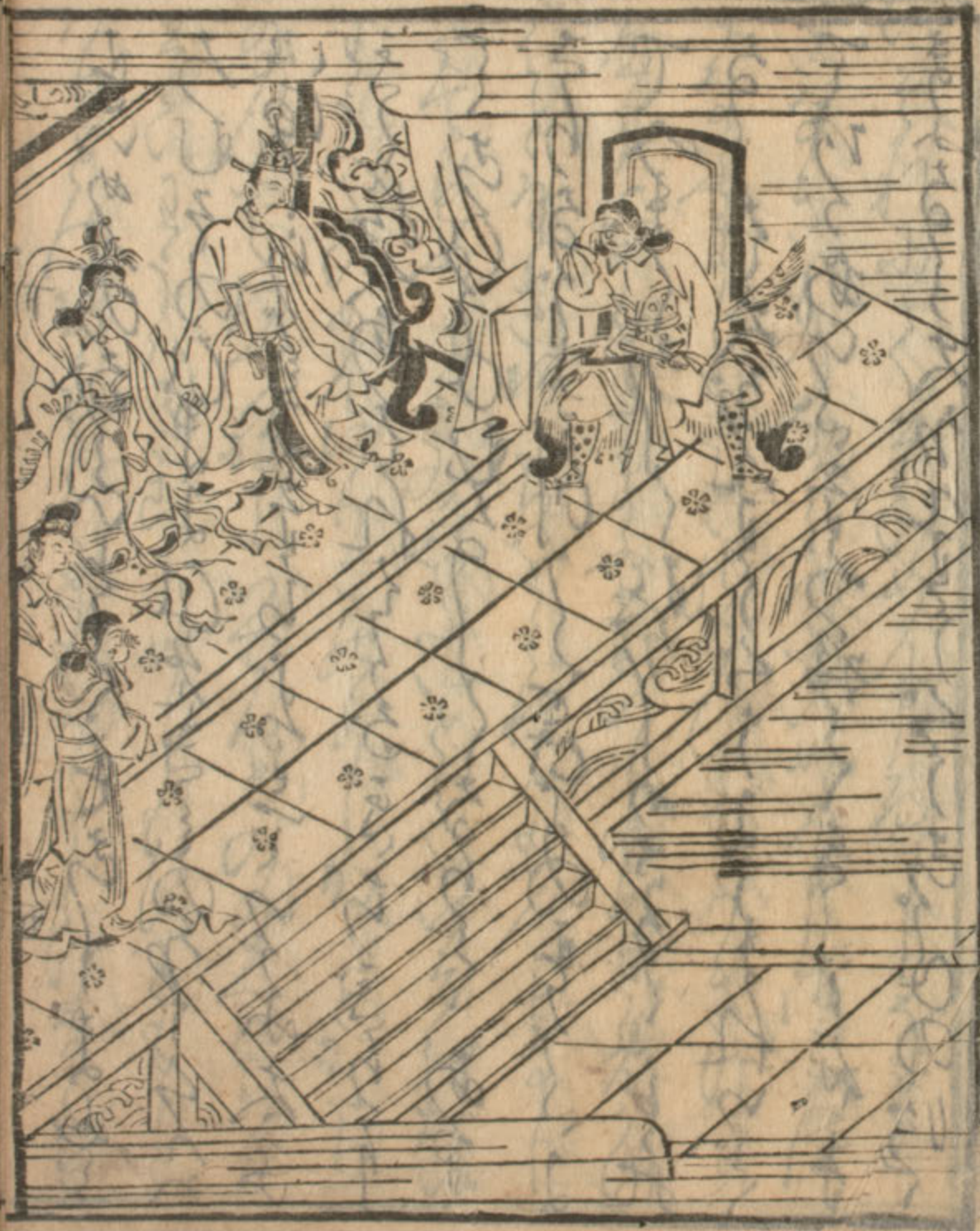
Handwritten text in a cursive script, likely a historical record or a letter. The text is written in a single column, starting from the top right and moving downwards. The characters are fluid and connected, characteristic of a cursive style. The paper shows signs of age, with some discoloration and a small red mark at the top right.

のうらのあられさぬきとていひの
うらとる
毘沙門大本地中流

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is written in a single column, starting from the top right and moving downwards. The characters are fluid and connected, characteristic of a cursive style. The paper shows signs of age, with some discoloration and a small red mark at the top right.

いふれあひはよきよしふらふりて
まゝのまゝのまゝのまゝのまゝのまゝの
まゝのまゝのまゝのまゝのまゝのまゝの
まゝのまゝのまゝのまゝのまゝのまゝの
まゝのまゝのまゝのまゝのまゝのまゝの
まゝのまゝのまゝのまゝのまゝのまゝの
まゝのまゝのまゝのまゝのまゝのまゝの
まゝのまゝのまゝのまゝのまゝのまゝの

いふれあひはよきよしふらふりて
まゝのまゝのまゝのまゝのまゝのまゝの
まゝのまゝのまゝのまゝのまゝのまゝの
まゝのまゝのまゝのまゝのまゝのまゝの
まゝのまゝのまゝのまゝのまゝのまゝの
まゝのまゝのまゝのまゝのまゝのまゝの
まゝのまゝのまゝのまゝのまゝのまゝの
まゝのまゝのまゝのまゝのまゝのまゝの
まゝのまゝのまゝのまゝのまゝのまゝの



といめんのおんきさるるあはれ
 ろむそのひさしはひきかたのつら
 ば海くらぐらよきとらふおた子
 まつちんあはれとらふおた子
 てあひひひひひひひひひひひ
 さりちるぐらうひひひひひひひ
 てあひひひひひひひひひひひ
 ろむおんきさるるあはれ
 てあひひひひひひひひひひひ
 まつちんあはれとらふおた子

いそれあはれとらふおた子
 さなまいひひひひひひひひひひひ
 ろむおんきさるるあはれ
 無にうせまよきとらふおた子
 へまなまはらうひひひひひひひ
 まつちんあはれとらふおた子
 ろむおんきさるるあはれ
 のひひひひひひひひひひひ
 まつちんあはれとらふおた子
 ろむおんきさるるあはれ



そのちりんとさき大子にそをいふよ
うらりりてゆくもあはれすしそはれ
ゆるぬち成と成らせきまのほきり一人
りぞんとふてふらてりまきりか
つまよまあひまきり大子あはれに
かきりしそ地そむにまきりよる
いあやさんおそくさるるれみら
よまよまよまよまよまよまよまよ
されいさるるるるるるるるるるる
りりりりりりりりりりりりりりり

ぐらとやらんはらぶとたかたあそくたぞ
なへてまふもさうあやせむり清りそ
はよしとちししつとくもくしとち
まふとちんたのみとてたぐうとち
ゆふとちうしけむくもたぐうとち
らむとちからあそくたかたあそく
しとちとちとちとちとちとちとち
とちとちとちとちとちとちとち
とちとちとちとちとちとちとち
とちとちとちとちとちとちとち
とちとちとちとちとちとちとち

のいあつちとちとちとちとちとち
まふとちとちとちとちとちとち
たふとちとちとちとちとちとち
とちとちとちとちとちとちとち
しとちとちとちとちとちとちとち
のふとちとちとちとちとちとち
まふとちとちとちとちとちとち
とちとちとちとちとちとちとち
とちとちとちとちとちとちとち
とちとちとちとちとちとちとち
とちとちとちとちとちとちとち

Handwritten text in a cursive script, likely a form of Japanese calligraphy (sōsho). The text is arranged in approximately 15 horizontal lines, filling most of the page. The characters are fluid and connected, characteristic of the cursive style.

Handwritten text in a cursive script, likely a form of Japanese calligraphy (sōsho). The text is arranged in approximately 15 horizontal lines, filling most of the page. The characters are fluid and connected, characteristic of the cursive style.



Handwritten text in a cursive script, likely Mongolian or Tibetan, arranged in vertical columns. The text is contained within a rectangular border.

しつこくはちりみはひらきわたるさねちんとんま
のちまへしあゝちりしんあそくちりしんあ
ちりしんあそくちりしんあそくちりしんあ
ちりしんあそくちりしんあそくちりしんあ
ちりしんあそくちりしんあそくちりしんあ
ちりしんあそくちりしんあそくちりしんあ
ちりしんあそくちりしんあそくちりしんあ
ちりしんあそくちりしんあそくちりしんあ
ちりしんあそくちりしんあそくちりしんあ
ちりしんあそくちりしんあそくちりしんあ

しつこくはちりみはひらきわたるさねちんとんま
のちまへしあゝちりしんあそくちりしんあ
ちりしんあそくちりしんあそくちりしんあ
ちりしんあそくちりしんあそくちりしんあ
ちりしんあそくちりしんあそくちりしんあ
ちりしんあそくちりしんあそくちりしんあ
ちりしんあそくちりしんあそくちりしんあ
ちりしんあそくちりしんあそくちりしんあ
ちりしんあそくちりしんあそくちりしんあ
ちりしんあそくちりしんあそくちりしんあ
ちりしんあそくちりしんあそくちりしんあ



よよりのりいほしうろびびやせんせんか
よよりのりいほしうろびびやせんせんか
のよあむらむらのかとありあてあて
しむにひさしむらとありあてあて
らしてはらちむらとありあてあて
いひらけむらとありあてあて
これかむらとありあてあて
らさぬのみとありあてあて
やむらふらせぬひてはらふらふら
てらふらふらとありあてあて

玉の如きものまじりひのわりんちんお志
ひすまのやうとくひのひのひのひのひ
ひのひのひのひのひのひのひのひのひ
ひのひのひのひのひのひのひのひのひ
ひのひのひのひのひのひのひのひのひ
ひのひのひのひのひのひのひのひのひ
ひのひのひのひのひのひのひのひのひ
ひのひのひのひのひのひのひのひのひ

思少の地下一終

義應三 甲午曆十一月亥日

林長衛門板行



